

2 自己分析・志望動機

① 自己分析とは

自己分析とは、就職活動を行うにあたり、「自分がどんな業界（業種）に興味があるのか」、「自分はそこで何をやりたいのか」といったことを考えるために必要であり、最も重要なことです。「働くということはどういうことか、自分自身の中でどう位置付けているか」を考えるとともに、自分自身の特徴をしっかりと理解すること、あわせて「自分の性格」、「適性」、「やりたいこと」などを分析し、文章化することにより、業種、企業、職種等を絞っていく上での選択基準となります。

② 自己分析の方法

自己分析をするとは、生まれてからこれまでの自分自身を振り返り、洗い出し、次のような項目についてまとめることです。自己分析は、今までの自分とより深く客観的に向かい合って考え、最終的には、初対面の人事担当者に、みなさんを理解してもらうための情報となります。（自己PR）

〈まとめる主な項目としては〉

- 1 職業観………社会人としての前提で組み立てる
- 2 性格（長所・短所）
- 3 学生時代にやってきたこと
- 4 ゼミ・研究課題
- 5 趣味・特技・資格
- 6 将来の自分…5年後、10年後の自分がどうなっているかライフプランを考え、その中で仕事（働くこと）をどう位置付けるか。

自己分析は大概慣れていないことから、とても難しい作業になります。また、時間の経過や実際の就職活動を通じて、「自分観」や「職業観」も変化するもので、完結するものではありません。自分だけが理解している内容では就職活動で通用しないので、家族、友人、指導教員、学科就職指導委員、就職指導課などに相談してください。

③ 志望動機のまとめ方

自己分析の延長線上にあるのが、より具体的な「自己PR」と「志望動機」です。企業の採用選考の中で、最も問われる柱となるのがこの2点です。

「志望動機」の基本的な内容は①「何でその業界（企業）に興味（関心）を持ったか」、②「その業界（企業）で何をやりたいのか」、③「①、②以外の独自の志望動機」をまとめたものです。

「志望動機」をまとめる上で参考になるのは、企業から出されるパンフレットやホームページなどの「開かれた情報」ですが、あわせて、実際に職場を目にして得られる情報も大変貴重です。

④ 就職指導行事

「自己分析」の方法や「志望動機」を明確にする方法など、みなさんが就職活動を進めるにあたり必要となる情報提供を目的に、就職指導課では「就職ガイダンス」や「就職試験対策」を開催しているので、積極的に参加してください。なお、行事の予定については「ポータルサイト」及び「CSNavi」を参考にしてください。